

小見川中央地区 まちづくり計画



目次

地勢と沿革	1
中央地区の地域資源	3
まちづくり計画の役割	4
小見川中央地区の現状と課題	5
小見川中央地区まちづくり目標	6
分野別の目標と行動計画	6
【資料編】	
社寺仏閣・文化財	9
小見川中央地区まちづくりアンケート結果概要	12



表紙【くすの木】

小見川中央小学校のシンボル くすの木で中央地区をイメージしました。

地勢と沿革

小見川中央地区は、香取市（旧小見川町）の中央に位置し、北部に利根川が流れ、中央を黒部川が貫流しており、兩岸の低地に市街地を形成しています。

交通環境では、東西にJR成田線（小見川駅）と国道356号が並行して走り、これとほぼ直交して主要地方道成田小見川鹿島港線が本地区を横断しています。

当地区は、明治22年市町村制施行により、小見川、本郷、下小川、羽根川、新々田、野田、八日市場、中沼、南原地新田の各村が合併し小見川町となり、昭和26年に小見川町、豊浦村、神里村、森山村の4町村が合併し新生小見川町が誕生しました。昭和30年に良文村を編入合併し、平成18年の市町村合併により香取市が誕生し現在に至っています。この「小見川」という町名は律令体制下（飛鳥・奈良時代）に属していた下総国海上郡（しもうさこくうなかみぐん）の郷名「麻績（おみ）」に由来すると考えられており、麻の生産を職業とする「麻績部（おみべ）」が居住していたことに因む地名と思われる。



黒部川の桜並木



城山公園の桜



小見川祇園まつり



水郷おみがわ花火大会



はんなり市



はなうえ祭

□人口の状況

各年4月1日現在

区分	人口			世帯数	年少人口 (15歳未満)		生産年齢人口 (15歳～64歳)		老年人口 (65歳以上)	
	男	女	構成比		構成比	構成比				
平成17年度	12,658	6,091	6,567	4,986	1,452	11.5	8,607	68.0	2,599	20.5
平成22年度	11,728	5,708	6,020	4,608	1,341	11.4	7,242	61.8	3,145	26.8
平成27年度	11,207	5,478	5,729	4,566	1,245	11.1	6,308	56.3	3,654	32.6

□中央小学校児童数の推移

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
児童数	506	506	476	459	445	429	420
学級数	17	17	16	16	15	13	13

※平成27年度以降は、平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれの住民基本台帳人口から推計。資料：香取市教育委員会

□中央地区産業別就業者人口

区分	総数	第1次産業	構成比	第2次産業	構成比	第3次産業	構成比	分類不能
12年国調	6,398	164	2.6	2,116	33.1	4,047	63.3	71
17年国調	6,116	186	3.0	1,967	32.2	3,943	64.5	20
22年国調	5,324	222	4.2	1,336	25.1	3,658	68.7	108

資料：国勢調査

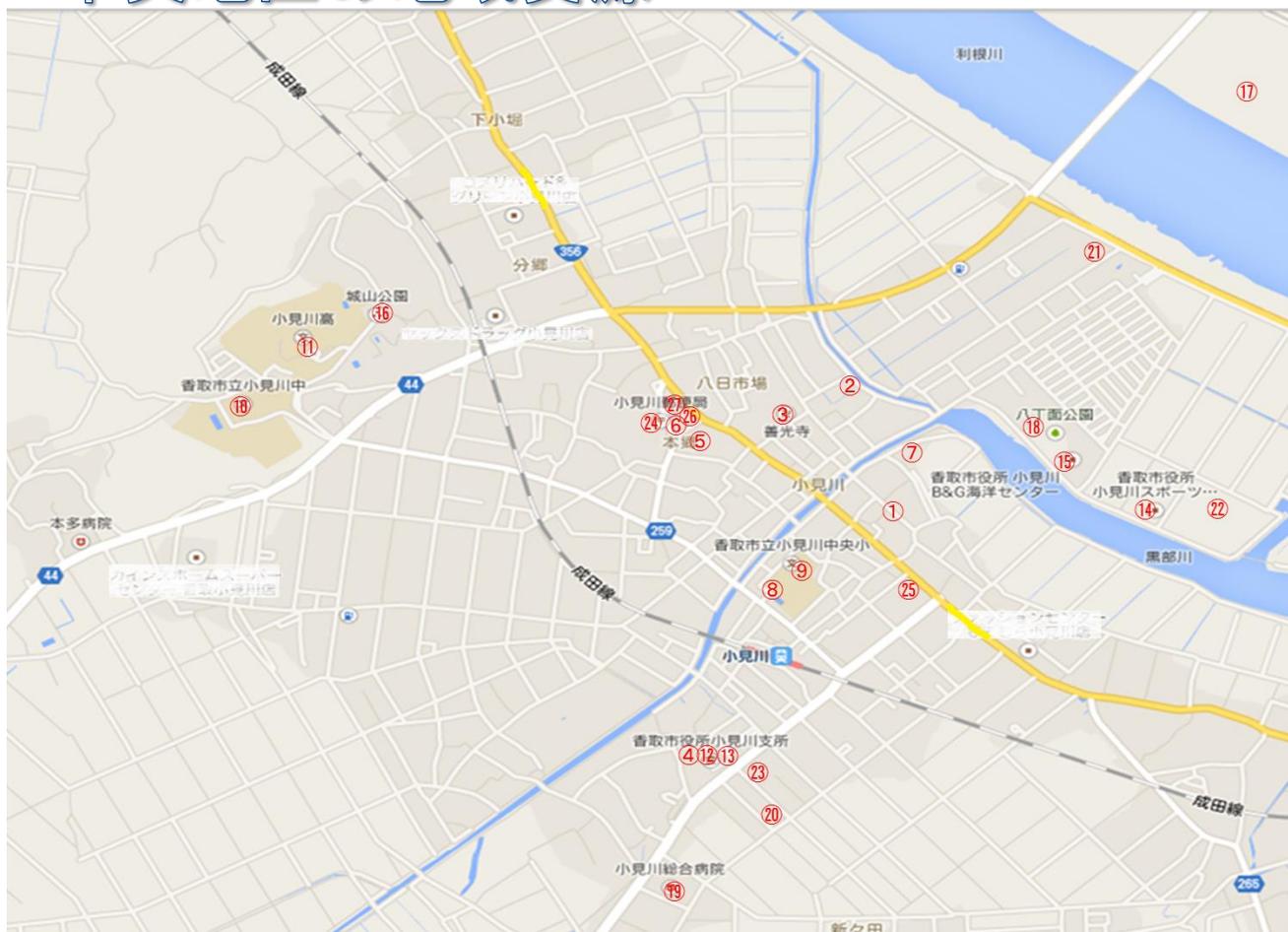
□中央地区農家数、農家人口及び農業従事者数

各年2月1日現在

区分	農家数				農家人口		農業従事者
	専業	第1種兼業	第2種兼業	うち男			
平成12年	224	14	62	148	1,187	581	732
平成17年	195	20	30	145	910	451	577
平成22年	156	26	26	104	687	336	261

資料：農業センサス

中央地区の地域資源



凡 例

区 分	No.	名 称	区 分	No.	名 称
文化財	1	染織処 谷屋土蔵 (国登録文化財)	都市公園	16	小見川城山公園
	2	佐藤尚中誕生地 (県指定文化財)		17	小見川河川敷運動公園
	3	初代松本幸四郎墓 (県指定文化財)		18	くろべ運動公園
公共施設	4	香取市役所小見川支所	その他公 共施設	19	小見川総合病院
	5	小見川消防署		20	おみがわ聖苑
	6	小見川社会福祉センターさくら館		21	利根川下流河川事務所小見川出張所
	7	小見川中央保育所		22	県立水郷小見川少年自然の家
	8	小見川幼稚園		23	香取警察署小見川幹部交番
	9	小見川中央小学校		24	小見川郵便局
	10	小見川中学校		25	香取市商工会
	11	県立小見川高等学校		26	香取市社会福祉協議会小見川支所
	12	小見川市民センターいぶき館		27	香取市シルバー人材センター小見川支所
	13	小見川図書館			
	14	小見川スポーツ・コミュニティセンター			
	15	小見川B&G海洋センター			

まちづくり計画の役割

少子高齢化など、社会環境が急激に変化し、住民のニーズもいろいろな分野に広がり、地域の課題も複雑多様化しています。

こうした中で、地域に住む一人一人の能力や地域の力を生かして、よりよい地域づくりを進めるため、市民協働による活動が展開される仕組みづくりとして、平成23年4月に香取市まちづくり条例が制定されました。

小見川中央小学区では、本条例に基づき市民協働によるまちづくりを推進するため、平成26年12月に「小見川中央地区まちづくり協議会」を設立しました。このたび協議会では、地域の皆さんで連携・協力して「住みやすい地域、魅力ある地域づくり」を進めるために、「みんなでつどう 豊かで元気なまちづくり」を目標とした「小見川中央地区まちづくり計画」を策定しました。

この計画は、目標の実現に向けて、現状や課題を明らかにし行動計画として取りまとめたもので、私たちが活動を実践していくための指針となるものです。

計画の役割と期間等

小見川中央地区まちづくり計画は、小見川中央地区まちづくり協議会が一丸となって取り組む目標や活動などを定めたものです。

この計画に基づき、年度ごとに事業計画書を作成し事業を実施します。

なお、地域の変化や活動状況に適切に対応するため、**必要に応じて**計画の見直しを行うこととします。

計画の推進体制

計画の推進にあたっては、区をはじめ各種団体、小見川中央地区まちづくり協議会や地域住民の役割分担により、部会の設置等分野別に活動に取り組む体制を整えるほか、部会間の事業調整を行う会議の開催、アドバイザー派遣などを行い持続的に事業展開ができるようにします。

小見川中央地区の現状と課題

■全般

小見川中央地区は、小見川地域の中でも最も多くの人口を抱え、商店街のほか公共機関や交通機関等のインフラが集まり、利根川、黒部川や城山公園等の自然を活用した桜まつり、花火大会、伝統行事としての祇園祭など多くのイベントも開催される地域です。

一方で急激な高齢化の進展により、高齢者の生きがい対策や一人暮らし高齢者対策、さらには、既存商店街の空き店舗の増加などにより地域の活力低下といった様々な問題にも直面しています。

■地域の活性化

空き店舗が目立つなど商店に活気がない、祭りに若い人がいないなど地域の活力の低下が課題となっています。

また、若い人の交流の場がない、地域の活動、文化がわからないといった声が寄せられています。

地域の活性化を図るためには、大型店の誘致や駅周辺の再開発等、市政に係わる要望もあります。

空き店舗の有効利用や交流人口を増やす仕掛け、情報発信が求められているほか、地域の身近な情報の共有、世代間の交流など、地域のふれあい交流活動を活発にする必要があります。

■安全と安心

高齢者の生きがい対策、一人暮らし高齢者対策、認知症対策等高齢者福祉に関する課題が多くなっています。

また、通院や買い物に不便など、バスや電車等交通手段の確保が望まれます。

医療、健康づくりでは、小児科や産婦人科の設置など小見川総合病院等、医療体制の充実が求められています。

防犯・防災対策では、防犯灯の整備や災害時の高齢者の避難等、災害時の地域協力体制を整備することが大切です。

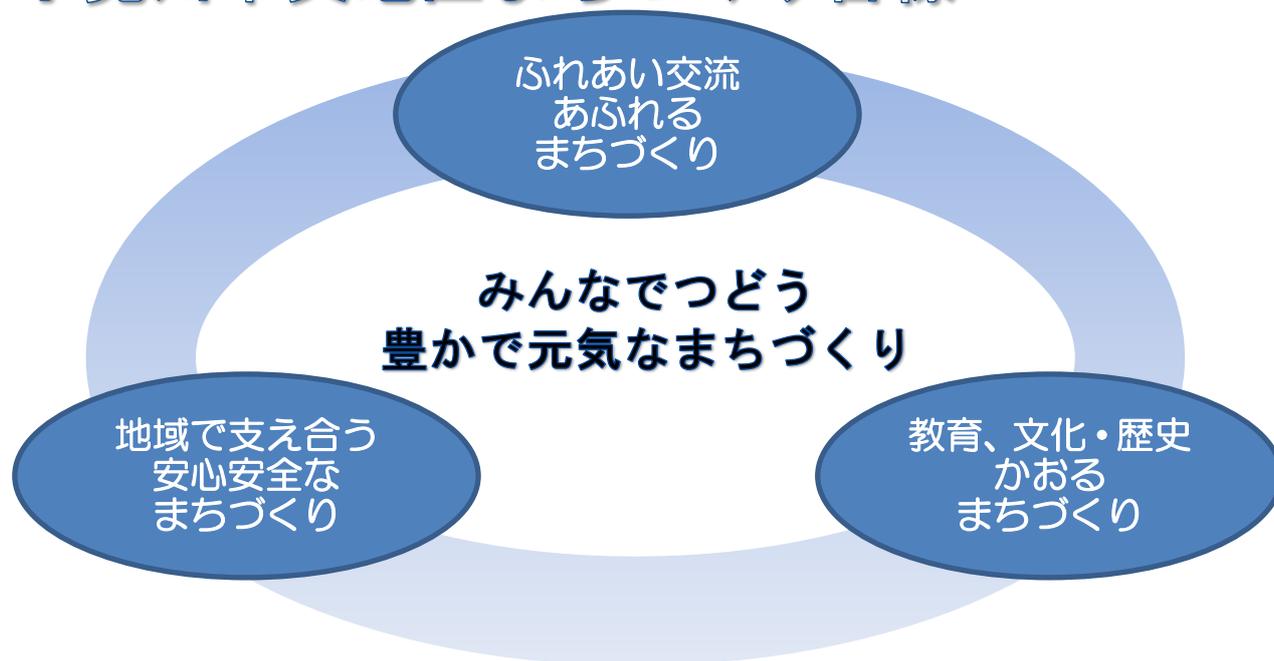
環境美化では、城山や黒部川の桜の手入れや黒部川の汚染防止など里山やふるさとの川を大切にす環境保全活動が求められています。

■教育と文化

中央地区には多くの社寺仏閣、貴重な文化遺産が存在し、須賀神社のお祭りは、「小見川祇園祭」として夏の風物詩となっています。

こうした文化遺産やお祭りをとおして郷土愛を育み、次代へ継承していくためには、担い手を育成することが大切です。

小見川中央地区まちづくり目標



「ふれあい交流あふれるまちづくり」、「地域で支え合う安心安全なまちづくり」、「教育、文化・歴史かおるまちづくり」の3本の柱を基本に、住民の交流、安心安全、教育文化の充実を図り、「みんなでつどう 豊かで元気なまちづくり」を目指します。

目標の達成に向けた事業の実施については、無理をせず、今できることから始めていくこととします。

分野別の目標と行動計画

分野別目標Ⅰ ふれあい交流あふれるまちづくり

さまざまな職種、多くの人々が暮らす小見川中央地区ならではの住民交流、地域の活性化を図ります。

行動計画 ふれあい交流

世代間の交流イベントや、盆踊り大会など多くの人々が参加し、ふれあい交流できる活動を計画していきます。

まちづくり協議会からの情報発信に加え、地域で活動する様々な団体、イベント等の情報をみんなが共有できるまちをめざし広報活動を行います。

行動計画 元気（活性化）

中央地区住民同士の交流はもちろんのこと、地区以外の人たちを巻き込んだ交流活動により、中央地区を元気なまちにしていきます。

地域の活性化について考え、空き店舗の有効活用や交流人口を増やす対策など中央地区ならではの特色をいかしたまちづくりを目指します。

分野別目標Ⅱ 地域で支え合う安心安全なまちづくり

子供から、高齢者まで、地域みんなが安心して暮らせるまちづくりをします。

行動計画 地域で支え合う

高齢者の見守り体制の確立、通学路の防犯ボランティアの充実など、地域で活躍されているボランティア、グループと連携し、地域で支え合う体制づくりを目指します。

行動計画 安心安全なまちづくり

子供たちの安全を確保するため、防犯カメラの設置、通学路危険マップの作成、見守り体制の強化などを検討、実施していきます。

災害発生時にそなえ、防災マップの作成、防災訓練の実施などの、地域全体の防災意識を高める活動を行います。

分野別目標Ⅲ 教育、文化・歴史かおるまちづくり

地域の伝統文化の体験や再発見を通じて、郷土への愛着を強くするとともに、次世代への継承を図ります。

行動計画 郷土の再発見

地域の郷土史研究者、団体、市の生涯学習課などと連携し、郷土について学び、再発見し、ふるさと意識の向上につながる場を作ります。

行動計画 文化・歴史をつなぐ

中央地区の夏の風物詩である祇園際など、地域の伝統行事を体験する機会を提供します。

ふるさとの歴史を学び、体験しながら、その魅力や価値、大切さを次世代へつないでいきます。

【資料編】

社寺仏閣・文化財

名称	内容等	備考
※須賀神社	千葉氏の盛時、その族栗飯原氏の創立で、宗族門葉の祈願所とした。祭神は素戔嗚尊（すさのおのみこと）	小路
※妙剣大神	寛永16年（1639）8月より元領主内田信濃守正信が本村給領以来、内田家代々の氏神と称し、祭事をし、営繕をされたという。祭神は日本武尊（やまとたけるのみこと）	北八軒町
※須賀神社	創立年代など不詳だが、寛永2年（1625）に社殿を修造す。祭神は素戔嗚尊（すさのおのみこと）	内浜
※須賀神社	不詳だが、寛文8（1668）戌年3月10日社殿再建。祭神は素戔嗚尊（すさのおのみこと）	外浜
※稻荷神社	創立年代など不詳だが、元禄2（1689）庚午年11月19日再建。祭神は宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）	新浜
※姫宮大神	創立不詳。古老のいい伝えによれば、寛永年中、当村内の他地区より現在地へ遷座されたものという。祭神は天鈿女命（あめのうずめのみこと）	田町
※金刀比羅神社	文化2年（1805）8月9日の創立。讃岐国那賀郡象頭山金刀比羅大権現を勧請する。祭神は崇徳天皇（すとくてんのう）素戔嗚尊（すさのおのみこと）	大根塚
※姫宮大神	祭神は田心毘売命（たごりひめのみこと）市杵島比売命（いちきしまひめのみこと）多岐都比売命（たぎつひめのみこと）	羽根川
※姫宮大神	祭神は多岐都比売命（たぎつひめのみこと）田心毘売命（たごりひめのみこと）市杵島比売命（いちきしまひめのみこと）。	本郷
※稻荷大神	創立年代等は明らかでないが、いい伝えによると、約200年前に社殿を創設する。祭神は倉稲魂命（うかのみたまのみこと）	新々田
※稻生大神	永禄10年（1567）創建、現存の本殿は正徳元年の建立である。祭神は宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）	野田
※八坂神社	祭神は素戔嗚尊（すさのおのみこと）	八日市場
※大六神社	祭神は高皇産霊神（たかみむすびのかみ）神皇産霊神（かみむすびのかみ）	八日市場
※稻荷大神	延享2年（1745）の創立。祭神は豊宇気毘売神（とようけひめのかみ）。	南原地新田

名称	内容等	備考
※栄神社	祭神は八衢比古神（やちまたひこのかみ）八衢比売神（やちまたひめのかみ）天鈿女命（あめのうずめのみこと）宇迦之御魂神（うかのみたまのかみ）	栄町
※安産神社	大正2年の文書に「抑当社安産神社者、村上天皇御宇 応和2年（962）9月、肥前国松浦郡玉島小川神功 社ヨリ当社ニ移シ奉リ白幡大明神ト称ヘ…」とある。 祭神は息長帯姫命（おきながたらしひめのみこと）	北小川
※妙剣神社	由緒書に「小見川城主粟飯原左衛門尉之出丸が此の地 にあり、その氏神として足利の末期此の地の鎮守とし て祀ったものなりと云ふ」とあり。祭神は須佐之男命 （すさのおのみこと）	南小川
※正福寺	寺伝によると、天平3年（731）に創立し、建久9 年（1198）に再建する。真言宗智山派で正観音を 本尊とする。	小路
※善光寺	寺伝によると、天正4年（1576）の創建で、大正 4年に修復した。「初代松本幸四郎墓」がある。天台 宗で阿弥陀如来を本尊とする。	南下宿
※本願寺	元龜3年（1572）創建する。浄土宗で旧小見川藩 主内田氏の菩提所となっており、御霊堂がある。	仲町
※松林寺	元禄13年（1700）辰年芳泰寺第9世の法孫外翁 受夫和尚創立と称す。曹洞宗で聖観世音を本尊とす る。	野田
※金剛寺	由緒不詳。真言宗智山派で、大日如来を本尊とする。	八日市場
※血当寺	永禄10年（1567）成毛宗正父宗親戦死の地に英 霊を弔うために東光院血当寺と称した。天台宗東叡山 派で薬師如来を本尊とする。	南小川
※妙隆寺	開創は不詳。日蓮宗で釈迦如来を本尊とされ、町内唯 一の布教所とされている。	仲町
染織処 谷屋土蔵	旧小見川町の代表的な商家の土蔵。明治後期のもの で、南北棟、土蔵造2階建瓦葺。現在は貝紫（アカニ シ貝）の染色製品を展示する夢紫美術館として一般に 公開されている。	上新町 夢紫 美術館（国登 録文化財）

名称	内容等	備考
※佐藤尚中誕生地	佐藤尚中は、文政10年(1827)4月8日小見川町に生まれ、幼くして江戸(薬研堀)に出、当時医業のかたわら漢学塾を開いていた佐藤泰然(佐倉順天堂病院創立者)の門を叩き、更に蘭医ポンペに師事し、西洋医学の蘊奥を極め、刀圭界の泰斗として数々の功績を残した。後、請われて恩師佐藤泰然の養嗣子となり、病院の経営と医学生の育成に専念した。旧宅地跡は、内浜公園として保存され、頌徳碑や産湯の井戸などが残されている。	内浜 内浜公園(県指定文化財)
※初代松本幸四郎墓	初代松本幸四郎は、延宝2年(1674)に生まれ、前名松本小四郎という。享保元年(1716)に幸四郎と改名、屋号を高麗屋、実事、荒事の立役を得意とした。享保15年(1730)歿した。善光寺に墓所がある。	南下宿 善光寺(県指定文化財)
※城山第1号古墳出土品	前方後円墳で、石室内から豪族の所持していたと思われる神獣鏡をはじめ刀剣、矢じり、武具、馬具等多数出土した。特に鏡は中国の魏の時代に作られたものである。現在日本に同范鏡が3個あるがその中の一つで貴重なものである。	羽根川 市文化財保存館(県指定文化財)
※城山第4号墳	中型の前方後円墳で、浄水場内にある。かつて埴輪が発見され、中には人物埴輪が出土したと伝えられている。	小見川(市指定文化財)
※関家古文書	江戸時代内田藩家老であり、また奥洲古殿領地代官であった関家に伝わる目録帳簿等古文書24点。	個人(市指定文化財)
※脇家古文書	江戸時代内田藩家老の脇家に伝わる古文書10点。	個人(市指定文化財)
小見川藩主内田氏関連位牌	小見川藩主内田氏関連位牌一式(54点)	仲町 本願寺(市指定文化財)

※小見川町史 通史編(発行 小見川町 平成3年3月30日 編集 小見川町史編さん委員会)

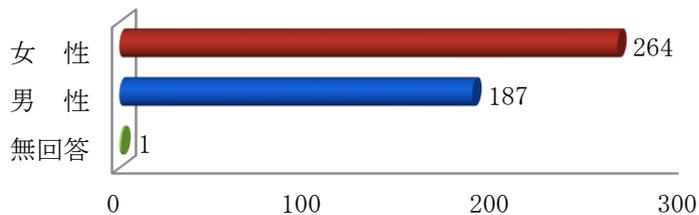
小見川中央地区まちづくりアンケート結果概要

実施時期 平成 27 年 2 月

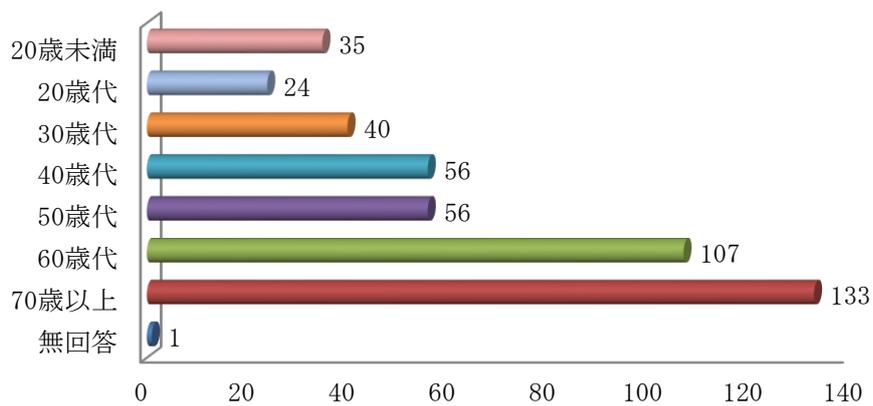
調査対象 小見川中央地区在住 10,506 名より、1,200 名を抽出

回答率 37.7% (452/1200)

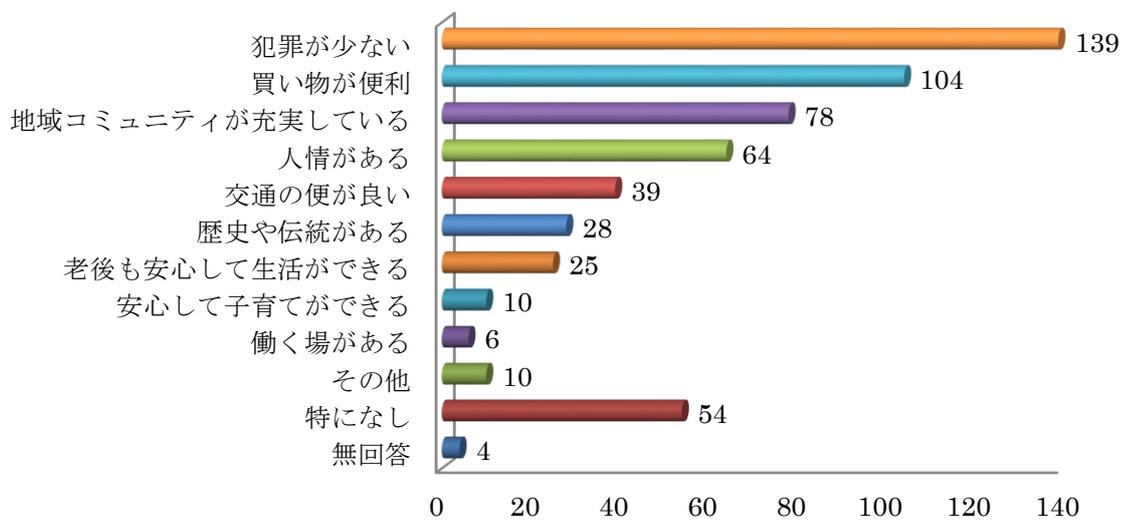
□性別について



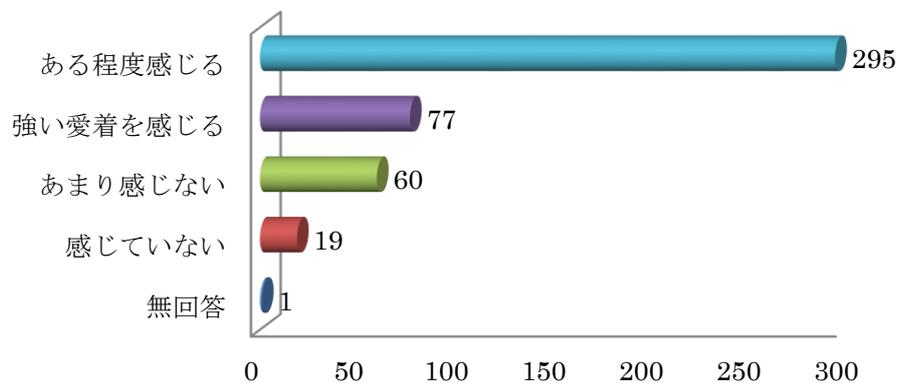
□年齢について



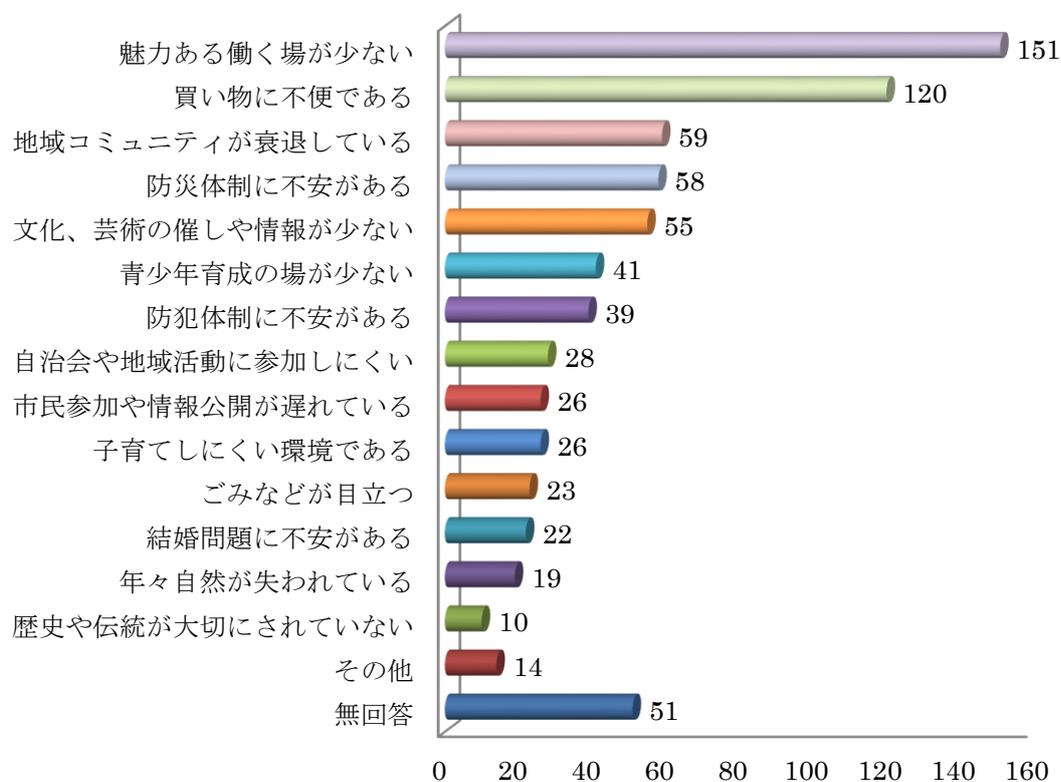
□地区の良いところ



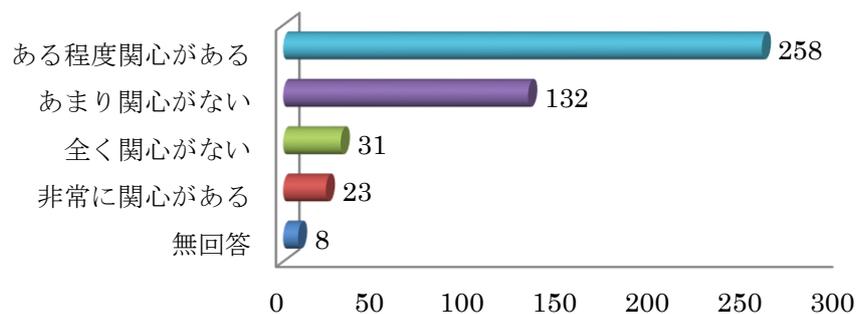
□地区への愛着について



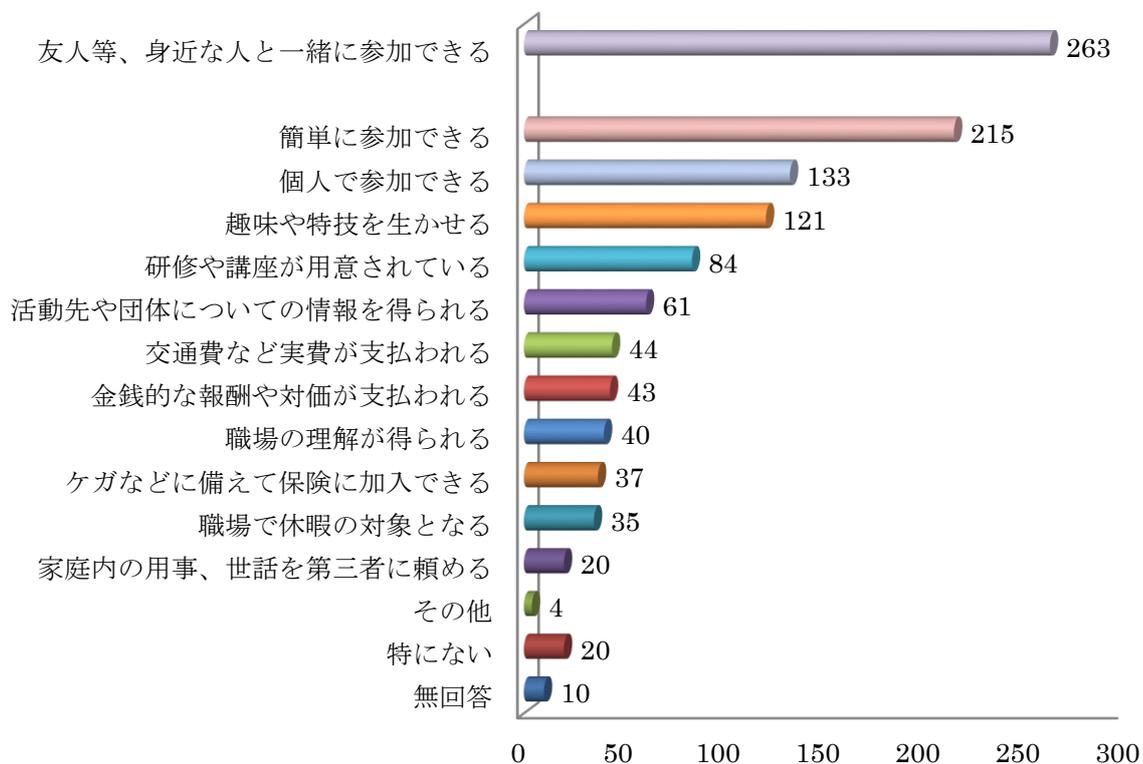
□地区の住みづらいつと感ずるところ



□地区の活動に関心があるか



□どのような条件があれば参加しやすいか（5つまで）



□どのような活動に参加したいと思いますか（5つまで）

